

公益社団法人 私立大学情報教育協会
英語教育におけるアクティブ・ラーニングの事例研究
開 催 要 項

1. 開催の目的

本協会で作成した教育改善モデル及び教員の実践事例を踏まえて、アクティブ・ラーニングを実現するための様々な教育方法、学修環境を整理・研究する中で、ICTの活用を含めた効果的な取り組みの促進を目指します。

2. 開催のねらい

- ① 学生の主体性を引き出し・伸ばす学修の重要性を認識します。
- ② 一方向的な授業とは異なり、学生の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学修法を認識します。問題発見学修、問題解決学修、体験学修、調査学修等が含まれますが、グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等、有効なアクティブ・ラーニングの方法・環境について探求します。

3. 事前準備について

- (1) 主体性を引き出すための初年次教育について、事前に本協会ビデオ・オンデマンド配信事業の「主体性を育む授業とは」安西祐一郎氏の映像資料を閲覧してご参加下さい。

※ 本協会のビデオ・オンデマンド配信事業（有料）は利用申し込みが必要です。大学で利用申し込みされているかご確認下さい。なお、参加されていない大学は参加いただくか、下記の講演資料をご一読下さい。

① ビデオ・オンデマンド配信事業のご案内	http://www.juce.jp/ondemand/
大学での利用申込確認・視聴方法について	http://www.juce.jp/senmon/ondemand/
② 安西氏の講演資料	http://www.juce.jp/senmon/active/
③ 産学連携 PBL 実践報告の関連資料（ベネッセ教育総合研究所）	

- (2) アクティブ・ラーニングについて理解を共有するため、併せて以下の資料をご一読下さい。

① 本協会が作成した教育改善モデル	http://www.juce.jp/senmon/active/
② 長崎大学のアクティブ・ラーニング関連資料	

4. プログラム 【平成 27 年 3 月 6 日（金）14：00～16：00】

- (1) 開催趣旨説明とこれまでの研究の経緯

- (2) 様々なアクティブ・ラーニングの取り組みに関する話題提供

①「自律的な学習者を育てる英語教育の取り組み」

原田 康也 氏（早稲田大学 法学学術院 教授）

②「英語で習得・考察・協働・遂行するグローバル教育の取り組み」

吉田 研作 氏（上智大学 言語教育センター長 教授）

- (3) 意見交換

分野別の教育改善モデル及び話題提供を題材に、アクティブ・ラーニングを効果的に進めるための意見交換を行います。その際、取り組みが十分達成されない要因、今後の改善点、教育効果を判定する基準・方法などの課題について議論する予定にしています。

- (4) 課題整理とまとめ

5. 参加対象者

私立大学に所属する教員及び教育支援に関係する職員

6. 日 程

平成 27 年 3 月 6 日（金）14：00～16：00

7. 会 場

早稲田大学 8号館 3階 303会議室
〒169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1
案内地図 <http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>

8. 定 員

50名（先着順で受け付けます。）

9. 参加費

無料

10. 資料について

当日は資料の配布はいたしませんので、必要な資料は各自印刷の上ご持参ください。
なお、話題提供の資料は開催の3日前を目途に以下のURLに掲載します。
<http://www.juce.jp/senmon/active/>

11. その他

話題提供と意見交換の様子（意見交換は背面からの遠景）を個人情報に配慮して収録し、映像は編集後に加盟校に限定してネット上で動画配信します。

また、意見交換による課題の整理は文章で本協会の英語教育FD/ICT活用研究委員会のWebに掲載する予定にしております。

12. 参加申込について

参加される方は、別紙の申込書に記入の上、FAXまたはメールにて2月27日（金）までにお申し込み下さい。

英語教育におけるアクティブ・ラーニング事例研究 参加申込書

※ 必要事項を記入の上、FAX（03-3261-5473）またはメール（bbseigo@juce.jp宛）にて2月27日（金）までにお申し込み下さい。

- ・ご記入いただいた個人情報は、本協会の事務連絡及び委員会活動の案内に限定して利用させていただきます。
- ・データベース管理作業の外部委託の際には目的外の利用や情報の流出がないよう、十分留意いたします。

『参加者記入欄』

※ できるだけ詳しくご記入下さい。後日、収録ビデオ配信のご案内や、今後の活動のご案内をさせていただきます。

ふりがな（ ）

氏 名： _____

大学名： _____

所属・役職： _____

E-Mail： _____

アクティブ・ラーニングに取り組んでいる工夫などを持ち寄っていただくために一言お寄せ下さい。
